

Oriental Land Co.,Ltd.



株主の皆さまへ
特集 Q&A

株式会社 オリエンタルランド 株主通信
2002/Vol.2

Q & A 特集

今回の株主通信は、株主の皆さまからアンケートで数多くお寄せいただいたご要望・ご質問にお答えするQ&A特集です。これにより、株主の皆さまとのコミュニケーションをより高めていきたいと考えています。

Part1 「東京ディズニーリゾート」のオペレーションについて聞かせて。

雑誌や新聞などの顧客満足度ランキングで常に上位となる「東京ディズニーリゾート」。当社のテーマパーク事業のオペレーション（運営）ノウハウは、その成功のかぎとして注目され、高く評価されています。



Q オリエンタルランドとディズニー社の関係を教えてください。 (東京都 70代 男性)

A 当社は、1979年に米国ディズニー社と「東京ディズニーランド」の設計や建設、運営などの業務提携の契約を締結しました。現在、これに加えて「東京ディズニーシー」やディズニーホテルおよびモノレールについて業務提携契約を結んでいます。これにより、当社はディズニーキャラクターやノウハウを活用できるほか、新規アトラクションなどの研究・開発を共同で行っています。「東京ディズニーリゾート」の成功は、ディズニー社の優れた発想と、当社の運営能力によるものと考えています。なお、この強固かつ良好なパートナーシップにより、企業初となる「ジャパン・ソサエティ賞」を受賞しました（詳細は21ページの「OLCフォーラム」をご覧ください）。



1979年 最終契約調印

Q キャストの質を高めるために、どのような教育を実施しているのですか。 (千葉県 20代 女性)

A ゲストの皆さまに“ハピネス”をご提供するには、キャストの質の高さは最も重要な要素です。当社は優れたキャストを育成するため、数々の研修を実施しています。キャストは採用後、ディズニーユニバーシティにおいてディズニーの精神・歴史やキャストとしての役割、コミュニケーションの重要性などを学んだうえで各部門で研修を受けます。さらに、フォローアップ研修を行うほか、優秀なキャストの中からトレーナー（指導員）となるキャストを対象とした研修なども実施しています。今後もサービスの質の維持・向上を目指し、キャストの育成に取り組んでいきます。

Q 最近、安全問題が取り上げられていますが、オリエンタルランドではどんな安全対策をとっているのですか。 (東京都 30代 男性)

A 当社グループでは、安全管理を経営の最も重要な取り組みのひとつとして位置付け、常に細心の注意を払っています。まず施設については、アトラクションなどを設計する段階から安全を最優先に考えて建設しており、ゲストの皆さまが常に安心してお過ごしいただけるよう点検も毎日行っています。また、オペレーションについても、安全を最優先することを基本としています。そのほか、食品に関しては、これまでも常に厳重な管理と慎重な対応を行ってきましたが、2002年10月に、独立した部門組織として「食の安全推進室」を新設し、当社グループ全体での食品の安全管理体制をより一層強化しました。



Part2 「東京ディズニーリゾート」の
これからの展開を教えてください。

当中間期の2つのテーマパーク合計の入園者数は11,955千人(対前中間期比28.6%増)となりました。永遠に完成することのないテーマリゾートとして魅力を高めていくこれからは、「東京ディズニーリゾート」の成長期です。



Q 「東京ディズニーシー」が開園し、今後のテーマパーク
事業をどう展開していくのですか。(千葉県 30代 男性)

A テーマパークは永遠に完成しないというウォルト・ディズニーの哲学もあり、「東京ディズニーリゾート」を今後も魅力あふれるリゾートに進化させていくため、2つのテーマパークそれぞれに積極的に追加投資を実施する方針です。そして、これまで「東京ディズニーランド」で行ってきたように、大型の新規アトラクションを2つのテーマパーク

《東京ディズニーランドの主な新規アトラクション・ショー導入実績》

1985年	東京ディズニーランド・エレクトリカルパレード
1987年	ビッグサンダー・マウンテン
1989年	スターツアーズ
1992年	スプラッシュ・マウンテン
1995年	ディズニー・ファンティリュージョン!
1996年	トゥーンタウン
1997年	マイクロアドベンチャー!
2000年	プーさんのハニーハント
2001年	東京ディズニーランド・エレクトリカルパレード・ドリームライツ
2004年	バズ・ライトイヤーのアストロブラスター(予定)

にバランス良く導入するほか、さまざまなイベントを随時開催していきます。さらに、ゲストの皆さまに「東京ディズニーリゾート」をよりお楽しみいただける新しいサービスを提供するなど、ソフト面も充実していきます。



Q 導入が決まっているショーやアトラクション
について教えてください。(愛知県 50代 男性)

A 「東京ディズニーランド」では、2003年1月から開園20周年記念イベントを開催するほか、2004年4月にトゥモローランド内に本格的な新規アトラクション「バズ・ライトイヤーのアストロブラスター」を導入する予定です。これは、ディズニー映画『Toy Story』シリーズをテーマにしたアトラクションで、おもちゃの世界に入り込んだゲストがキャラクター「バズ・ライトイヤー」とともにスペーススクルーパーに乗り込み、宇宙を征服しようと企む悪の帝王「ザーグ」との戦いに参戦するというストーリーです。すべてのショーシーンがゲスト参加型となり、これまでにない新たな体験をご提供します。「東京ディズニーシー」では、新年イベント「ニューイヤーズ・フェスタ」やウィンターフェスティバル「ディズニー・デリシャス・デイズ」などのイベントを開催します。その後も、スペシャルイベントやアトラクションなどを順次導入していく予定です。



「バズ・ライトイヤーのアストロブラスター」イメージ ©Disney/Pixar

Part3 舞浜地域以外の
事業展開について教えて。

「夢・感動・喜び・やすらぎ」をひとつひとつに提供する」という企業理念のさらなる実現を目指し、当社は舞浜地域だけにとどまらず、成長が見込まれる新たな分野にも事業を展開していきます。

Q 「ディズニーストア」が加わることでどのような効果がありますか。 (東京都 50代 女性)

A 2002年4月1日に当社は「ディズニーストア」を経営・運営する株式会社リテールネットワークスの全株式を取得し、連結子会社としました。これにより、連結での業績寄与はもちろんです。舞浜地域以外での事業展開のノウハウを蓄積することができます。さらに、「東京ディズニーリゾート」との相乗効果をねらった取り組みも開始しています。「ディズニーストア」全店舗に「東京ディズニーリゾート・ガイド」を配置したほか、一部の店舗では情報端末機の設置により各施設の最新情報をご覧いただけるようになりました。また、2002年10月からは1デーパスポート(日付指定なし)の販売を全店舗で、日付指定券の販売を一部店舗でそれぞれ開始しています(右表参照)。

今後も、新たな地域への出店などにより、「東京ディズニーリゾート」との相乗効果拡大を図っていきます。

都道府県	「ディズニーストア」店舗名	情報端末機	日付指定券の取り扱い
宮城県	仙台東映プラザ店		
千葉県	千葉そごう店		
埼玉県	大宮アルシェ店		
東京都	渋谷公園通り店 池袋サンシャインシティアルパ店 北千住ルミネ店		
神奈川県	川崎BE店 横浜そごう店		
愛知県	名古屋松坂屋店		
京都府	京都高島屋店		
福岡県	福岡三越店		

1デーパスポート(日付指定なし)の取扱いは「ディズニーストア」全46店舗で行っています。

Q 舞浜地域以外の新規事業計画はありますか。 (愛知県 30代 女性)

A 当社では、新規事業に関する調査・研究や企画立案などの強化を目的に、組織の新設を含めた体制を強化するなど、検討を進めています。また、舞浜地域以外の進出としては、「ディズニーストア」のほか、アンティークから最新モデルまで揃う時計専門店「アルキメデス・スパイラル」が、2002年9月に東京・丸の内ビルディングのテナントとして出店し、イクスピアリ直営店舗として初めて舞浜地域以外へ進出しています。

今後は、新たな事業の可能性をさらに拡大し、舞浜地域以外での事業展開のノウハウを蓄積していくことで、グループ全体としてさらなる成長を目指していきます。



アルキメデス・スパイラル丸の内店

東京ディズニーランド 20th アニバーサリー



2003年4月15日、「東京ディズニーランド」は開園20周年を迎えます。これに合わせて2003年1月25日から2004年4月までの15カ月間、“Dream”をテーマに、20周年を盛大に祝うさまざまなスペシャルイベントやエンターテインメントを開催します。この内容をいち早くご紹介します。

2003.1.25~2004.4.11

「ディズニー・ドリームス・オン・パレード」

期間を通して行われる新パレード。美しい流れ星のフロートに乗って登場するミッキーが、20周年をお祝いします。



2003.4.15~9.19

「ミッキーのギフト・オブ・ドリームス」

シンデレラ城前のステージで20周年を祝うパーティーを開いたミッキー。彼が用意した、「みんなの夢を叶える不思議なバッグ」がディズニーの仲間たちの夢を叶えていきます。



2004.1月上旬~4.11

ファイナルプログラム(名称未定)

20周年のお祝いのフィナーレを盛大に盛り上げます。



2003.1.25~3.20

「シンデレラブレーション：ライツ・オブ・ロマンス」

シンデレラ城前の広場で行われる、シンデレラの戴冠式とその盛大なお祝いを再現する音と光のナイトエンターテインメント。



2003.7.1~9.19

「ブレイジング・リズム」

野生的な打楽器のリズムによって、プラザ全体で大規模に繰り広げられるゲスト参加型のサマーナイトエンターテインメント。

スペシャルイベント名、開催日は変更になることがあります。イラストはイメージです。

東京ディズニーリゾート情報

今回は「東京ディズニーリゾート」内の商品販売施設をご紹介します。

テーマパーク情報

東京ディズニーシー

●アート・ペグズ・ヴィレッジストア (アメリカンウォーターフロント)



赤い羽目板の外壁に白い窓枠の建物は、アメリカのニューイングランドの海辺によくある典型的なスタイル。冒険好きなベグおばさんが営む素朴で温かい雰囲気

のこのお店では、ホームメイドタイプのお菓子や紅茶、ジャムといった食品類のほか、輸入物の家庭雑貨などを販売しています。また、隣の飲食店舗「ケープコッド・クックオフ」で公演されるショー「ドナルドのポートビルダー」のグッズや、プーさんグッズも販売しています。

http://www.tokyodisneyresort.co.jp/tdsj_index.html/

東京ディズニーランド

●グランドエンポーリアム(ワールドバザール)

3軒の既存施設を1店舗にまとめた大規模ショップが2003年3月21日にオープンします。このお店のオーナーはミッキーマウス。建物の外観や店内は、別々の店舗であ



った姿をそのまま残しています。「東京ディズニーランド」内で品揃えが最も多いこの店舗の正面には、かつてここが小さなよろず屋であった頃の様子がうかがえる古い写真などが飾られるほか、忙しそうに働いているミッキーマウスの姿が見られるかもしれません。

<http://www.tokyodisneyresort.co.jp/tdl/>

ホテル情報

東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ ●ミッキランジェロ・ギフト

ルネサンスの偉大な芸術家、ミケランジェロに敬意を表してユーモラスに名付けられたギフトショップ。ミケランジェロならぬ「ミッキランジェロ」作の彫像や絵が店内に飾られています。ホテルのオリジナル商品をはじめ、「東京ディズニーリゾート」のグッズも販売しており、「東京ディズニーリゾート」で過ごした思い出と一緒に持ち帰りいただけます。



<http://www.hotelmiracosta.com/>

イクスピアリ情報

イクスピアリ直営店 ●アルキメデス・スパイラル (2階 トレイダーズ・パッセージ)

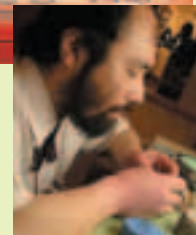
ファッションパーツとしての「今、旬の時計」から、過去から受け継ぎ次代に残すべき「古き良き時計」までを集めた時計専門店。港町のワインセラーを改造した雰囲気の内には、アメリカを代表する腕時計メーカー「ハミルトン社」の別注オリジナルウォッチや、スイスの隠れた名門メーカー「ロータリー社」製



品、時計作家による「手作り時計」など、ここでしか手に入らない時計を取り揃えています。また「時計店の良心」を象徴するリペアルームを併設し、CMW(公認高級時計師)の資格を持つ技師が修理を承ります。

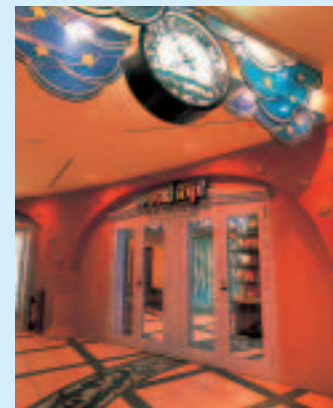
2002年9月には、東京・丸の内ビルディングに、イクスピアリ直営店として初の「東京ディズニーリゾート」外部出店となる「アルキメデス・スパイラル 丸の内」がオープンしています。

<http://www.ikspiari.com/>



キャンプ・ネpos情報

●ネpos・ホップ! (キャンプ・ネpos1階)



「キャンプ・ネpos」の理念である「プレデュークेशन(知識を身につける前段階に必要な心の育成)」に基づいた商品を販売するお店です。「キャンプ・ネpos」のプログラムで使用しているパペット(手を入れて動かせるぬいぐるみ)やクラフト素材、木製玩具のほか、「キャンプ・ネ

pos」オリジナル商品を販売しています。取り扱う商品は、環境・安全・デザインを重視した自然をテーマとしたものが中心です。また、店舗で販売している商品をホームページ上でも紹介していますので、ぜひ一度アクセスしてみてください。



商品のご注文・お問い合わせ : Tel.047-305-5678

<http://www.campnepos.com/>

カレンダー

当中間期のトピックスと今後のトピックスをご紹介します。

- 東京ディズニーランド
- 東京ディズニーシー
- その他

カレンダー 2002

4/1

(株)リテールネットワークスの全株式を取得し、国内の「ディズニーストア」の経営・運営を開始。

-5/31

「Dポップ・マジック!」を開催。



6/29-9/1

イクスピアリで「ピアリ・フェスティバル」を開催。

6/30

トゥモローランドのアトラクション「ミート・ザ・ワールド」がクローズ。



7/1-7/7

「ディズニー・スターフェスティバル」を開催。

7/7

開業 10 カ月あまりで来園ゲスト 1,000 万人を達成。



7/8-9/30

ドナルドをはじめ、ディズニーの仲間たちの愉快的なサマーパッケージがパレードになって登場する「ドナルドのスーパーズラッシュ」を開催。



7/15

東京ディズニーリゾート・ウェルカムセンターに「東京ディズニーリゾート・パッケージプランナー」が登場。

9/1

「バス・ライトイヤーのアストロブラスター」の導入準備に伴い、「ビジョナリアム」がクローズ。

9/2

東京ディズニーリゾートを中心に走行するタクシー「舞浜リゾートキャブ」に新型車を導入。



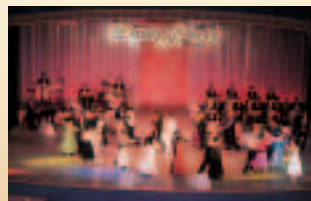
9/4-10/20

開園 1 周年を記念した「東京ディズニーシー1stアニバーサリー」を開催。



9/15

「ディズニー・ダンスパーティー」を開催。



9/28

米国テーマエンターテイメント協会から「TEA 功績賞」を受賞。

10/1

近隣の 10 ホテルに加え 8 ホテルが「東京ディズニーリゾート・グッドネイバーホテル」プログラムに参加。

新規参加ホテル

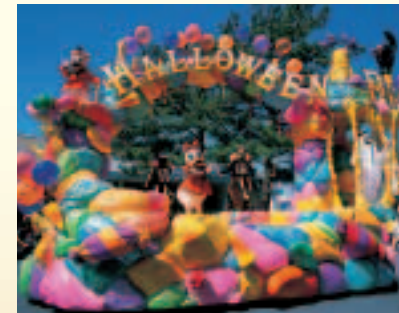
京成ホテルミラマレ
新高輪プリンスホテル
ホテルバシフィック東京
赤坂エクセルホテル東急
京王プラザホテル
ホテルエドモント
ホテルグランドパレス
八重洲富士屋ホテル

10/1

ディズニーストア全 46 店舗で 1 デーパスポート(日付指定なし)の販売を開始。

10/1-10/31

「ディズニー・ハロウィーン」を開催。



10/9

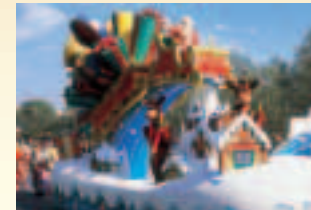
日米関係の進展に貢献した企業として「ジャパン・ソサエティ賞」を受賞。

11/1

テーマパーク内の一部の飲食店舗で「パースデープログラム」を開始。

11/4-12/25

東京ディズニーランドの「クリスマス・ファンタジー」や東京ディズニーシーの「ハーバーサイド・クリスマス」をはじめとする「東京ディズニーリゾートのクリスマス」を開催。



12/28-12/30

カウントダウンの興奮を一足早くお届けする「カウントダウン・パレード 2003」を開催予定。

カレンダー 2003

1/1-1/5

東京ディズニーランドでは、「ニューイヤーズ・ホリデー」を、東京ディズニーシーでは「ニューイヤーズ・フェスタ」を開催予定。

1/10-3/20

ウィンターフェスティバル「ディズニー・デリシャス・デイズ」を開催予定。

1/25-2004/4/11

開園 20 周年の新パレード「ディズニー・ドリームス・オン・パレード」を開催予定。

1/25-3/20

シンデレラの戴冠式を再現する「シンデレラブレーション: ライツ・オブ・ロマンス」を開催予定。



4/15-9/19

シンデレラ城前のステージで行われるショー「ミッキーのギフト・オブ・ドリームス」を開催予定。

7/1-9/19

プラザ全体で繰り広げられるショー「ブレイジング・リズム」を開催予定。

9/15

60歳以上の方々に、ディズニーキャラクターと一緒にダンスをお楽しみいただく「ディズニー・ダンスパーティー」を開催予定。

9/20-10/31

ハロウィーンのコスチュームに身を包んだディズニーの仲間たちが登場する「ディズニー・ハロウィーン」を開催予定。

11/4-12/25

「クリスマス・ファンタジー」を開催予定。

2003年3月期中間決算のご報告(連結)

連結損益計算書

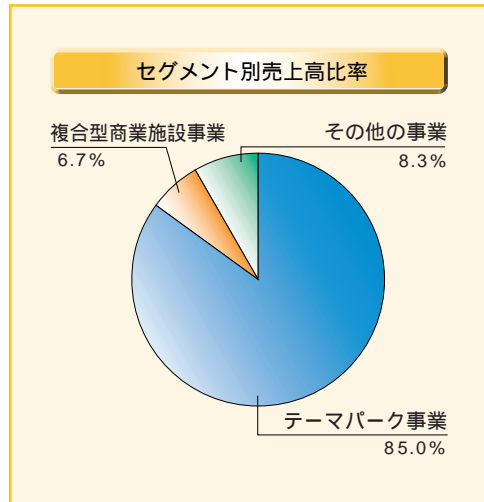
(単位:百万円)

	前中間期 (2001.4-2001.9)	当中間期 (2002.4-2002.9)	前期 (2001.4-2002.3)
売上高	114,105	160,394	281,081
売上原価	91,555	128,492	228,048
売上総利益	22,549	31,901	53,032
販売費及び一般管理費	9,653	13,697	19,370
営業利益	12,896	18,204	33,661
営業外収益	8,222	831	8,860
営業外費用	15,635	3,094	18,735
経常利益	5,484	15,941	23,786
特別利益	279	—	279
特別損失	1,127	—	1,817
税金等調整前中間 当期 純利益	4,635	15,941	22,248
法人税、住民税及び事業税	3,834	7,276	12,237
法人税等調整額	1,116	521	2,756
少数株主利益	30	1	40
中間 当期 純利益	1,887	9,185	12,726

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

	前中間期 (2001.4-2001.9)	当中間期 (2002.4-2002.9)	前期 (2001.4-2002.3)
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	111,403	111,403	111,403
資本剰余金中間期末(期末)残高	111,403	111,403	111,403
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	152,828	164,068	152,828
利益剰余金増加高	1,887	9,185	12,726
中間 当期 純利益	1,887	9,185	12,726
利益剰余金減少高	785	1,286	1,486
配当金	700	1,201	1,401
役員賞与	85	85	85
利益剰余金中間期末(期末)残高	153,930	171,967	164,068



中間連結決算概要

東京ディズニーランドでは、さまざまなスペシャルイベントを実施しました。また、9月には東京ディズニーシーおよび東京ディズニーシー・ホテルミラコスタが開業1周年を迎え、期間を通じて業績に寄与しました。さらに、当期からその他の事業にディズニーストアの業績が加わりました。以上の結果、連結売上高は前中間期比40.6%増、連結営業利益は同41.2%増、連結経常利益は同190.7%増、連結中間純利益は同386.6%増となりました。また、2つのテーマパーク合計の入園者数は、同28.6%増の11,955千人となりました。

事業の種類別セグメント情報

当中間期(2002.4~2002.9)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
① テーマパーク事業	136,257	14,975
② 複合型商業施設事業	10,776	1,207
③ その他の事業	13,359	1,809
計	160,394	17,992
消去または全社	—	211
連結	160,394	18,204

① テーマパーク事業

東京ディズニーランドでは、7月よりサマーパレード「ドナルドのスーパーブラッシュ」を開催しました。また、くまのプーさんがモチーフの光る小型携帯扇風機「スパークリングファン」や夏に販売した「シェイプアイス」などが好評を博しました。

東京ディズニーシーでは、9月から10月に開園1周年を祝う「東京ディズニーシー1stアニバーサリー」を開催しました。また、夜の水上ショー「ディズニーシー・シンフォニー」で指揮するミッキーの腕をデザインした光る玩具「トゥインクルタクト」などが好調だったほか、開園1周年を記念したメニューや前期に引き続き「ギョウザドッグ」が人気を博しました。

東京ディズニーシー・ホテルミラコスタでは、テーマパーク一体型という付加価値を活かし、客室稼働率・平均客室単価ともに高水準を維持しました。以上の結果、売上高は前中間期比36.3%増、営業利益は同28.4%増となりました。



② 複合型商業施設事業

イクスピアリでは、「イクスピアリ・ムービー&ファン」や「ピアリ・フェスティバル」などの集客活動を展開しました。また、6月には惣菜や洋菓子などを扱う店舗を集めた「FOOD FOOD」をオープンするなど、魅力的な店舗構成に努めました。

ディズニーアンバサダーホテルでは、ディズニーホテルとしての特色を活かした運営を行った結果、客室稼働率・平均客室単価ともに高水準となりました。以上の結果、売上高は前中間期比7.1%減となったものの経費削減効果により、営業利益は同16.4%増となりました。

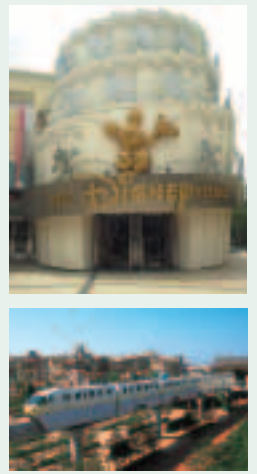


③ その他の事業

ディズニーストアでは、東京ディズニーシーの開園により、ディズニー情報のメディアへの露出が増加したためゲストの来店が増加しました。また、新規商品の継続的な導入によって魅力を保つとともに、ゲストサービスを強化することで購買率の向上に努めました。

ディズニーリゾートラインでは、7月に開業1周年を迎え、東京ディズニーリゾートを訪れた多くのゲストにご利用いただきました。

以上の結果、売上高は前中間期比433.7%増、営業利益は同282.0%増となりました。



(注) 事業セグメントと連結対象各社の関係は、19ページの会社情報をご覧ください。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前中間期末 (2001.9)	当中間期末 (2002.9)	前期末 (2002.3)
(資産の部)			
流動資産	79,093	73,879	75,317
現金及び預金	18,689	22,622	28,218
有価証券	31,406	28,853	18,413
その他	28,997	22,403	28,684
固定資産	635,421	605,127	617,950
有形固定資産	573,524	545,326	561,128
建物及び構築物	348,167	343,095	349,457
機械装置及び運搬具	118,608	98,691	106,018
土地	70,663	70,963	70,663
その他	36,084	32,576	34,989
無形固定資産	20,589	19,439	18,649
投資その他の資産	41,307	40,360	38,172
繰延資産	1,751	1,253	1,501
① 資産合計	716,265	680,260	694,769
(負債の部)			
流動負債	118,629	103,627	83,366
一年以内に償還する社債	—	30,000	—
一年以内に返済する長期借入金	9,146	21,414	13,950
その他	109,483	52,213	69,416
固定負債	268,997	229,756	272,785
社債	190,000	160,000	190,000
長期借入金	51,714	42,700	55,700
その他	27,283	27,056	27,085
② 負債合計	387,627	333,384	356,151
(少数株主持分)			
少数株主持分	73	85	83
(資本の部)			
資本金	63,201	63,201	63,201
資本剰余金	111,403	111,403	111,403
利益剰余金	153,930	171,967	164,068
其他有価証券評価差額金	30	223	134
自己株式	0	4	4
③ 資本合計	328,565	346,790	338,533
負債、少数株主持分及び資本合計	716,265	680,260	694,769

① 連結資産の部概要

現金及び預金などの流動資産を借入金の約定返済に充当しました。また、4月1日に(株)リテイルネットワークスの株式を取得したことよりのれん代が発生したため、無形固定資産が増加した一方、減価償却により固定資産は減少しました。以上の結果、連結資産の部合計は前期末比2.1%減となりました。

② 連結負債の部概要

借入金の約定返済などにより負債が減少しました。なお、来期償還分の無担保社債や一年以内に返済する長期借入金を固定負債から流動負債へ振り替えました。以上の結果、連結負債の部合計は前期末比6.4%減となりました。

③ 連結資本の部概要

連結中間純利益の増加に伴い、利益剰余金が増加した結果、連結資本の部合計は前期末比2.4%増となりました。なお、有利子負債を順調に返済していることから、当中間期の株主資本比率は51.0%と前期末に比べて高まりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間期 (2001.4~2001.9)	当中間期 (2002.4~2002.9)	前期 (2001.4~2002.3)
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	20,907	40,276	62,805
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	68,813	30,709	114,264
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	29,088	23,787	23,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	2	11
現金及び現金同等物の減少額	18,813	14,222	28,434
現金及び現金同等物の期首残高	67,280	38,846	67,280
現金及び現金同等物の中間期末 期末 残高	48,467	24,623	38,846

連結キャッシュ・フロー計算書概要

当中間期における現金及び現金同等物の中間期末残高は、営業活動によるキャッシュ・フローが増加し、有形固定資産への投資額も減少したものの、余剰資金を有価証券で運用し借入金の返済を行ったことなどにより、24,623百万円(対前中間期末23,843百万円減)となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

東京ディズニーシー、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタおよびディズニーリゾートラインが期間を通して稼働したことから、連結中間純利益および減価償却費が増加しました。また、上記施設の建設工事にか

かる消費税等の還付を受けたことなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは40,276百万円(対前中間期19,368百万円増)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

主にテーマパークへの新規投資や更新改良投資を実施しました。その一方で、余剰資金を有価証券等で運用したことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フ

ローは 30,709百万円(対前中間期38,103百万円増)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により創出されたキャッシュを借入金等の返済に充当したことにより、財務活動によるキャッ

シュ・フローは 23,787百万円(対前中間期52,876百万円減)となりました。

(注)1.11ページから14ページに掲載した連結財務諸表は、主要な項目を表示しています。また、すべて百万円未満を切り捨てて表示しています。
2.「中間連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」の改正に伴い、連結剰余金計算書、連結貸借対照表の記載方法が変更されました。そのため前中間期および前期の計数を組み替えて表示しています。

2003年3月期中間決算のご報告(単体)

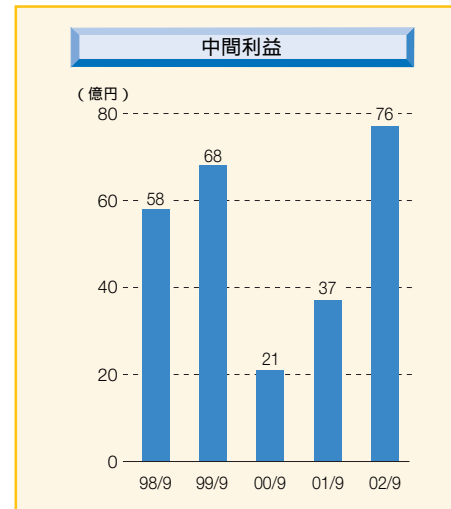
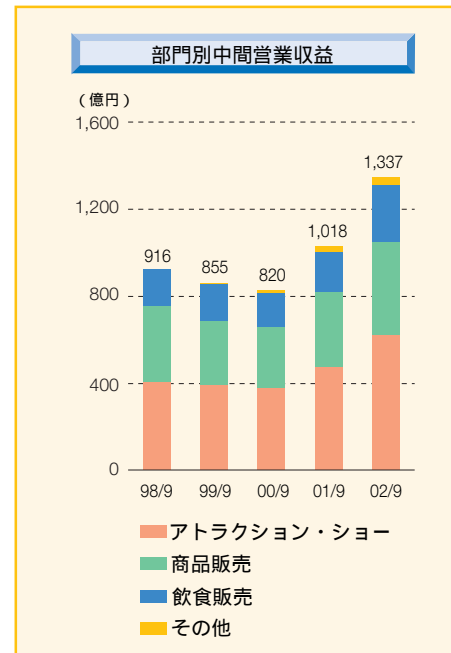
損益計算書

(単位:百万円)

	前中間期 (2001.4~2001.9)	当中間期 (2002.4~2002.9)	前期 (2001.4~2002.3)
営業収益	101,857	133,725	250,246
アトラクション・ショー収入	46,855	61,394	114,741
商品販売収入	33,850	42,604	83,978
飲食販売収入	18,476	25,659	44,936
その他の収入	2,673	4,066	6,590
営業費用	88,991	119,804	220,182
売上原価	81,241	112,553	204,697
一般管理費	7,750	7,251	15,485
営業利益	12,865	13,920	30,064
営業外収益	8,708	1,791	9,872
営業外費用	14,057	2,593	16,644
経常利益	7,516	13,118	23,292
特別損失	1,127	—	1,817
税引前中間(当期)利益	6,388	13,118	21,475
法人税、住民税及び事業税	3,570	5,513	11,585
法人税等調整額	926	84	2,568
中間(当期)利益	3,744	7,689	12,458
前期繰越利益	1,658	2,629	1,658
中間配当額	—	—	700
中間(当期)末処分利益	5,402	10,318	13,415

(注)1.15ページから16ページに掲載した財務諸表は、主要な項目を表示しています。また、すべて百万円未満を切り捨てて表示しています。

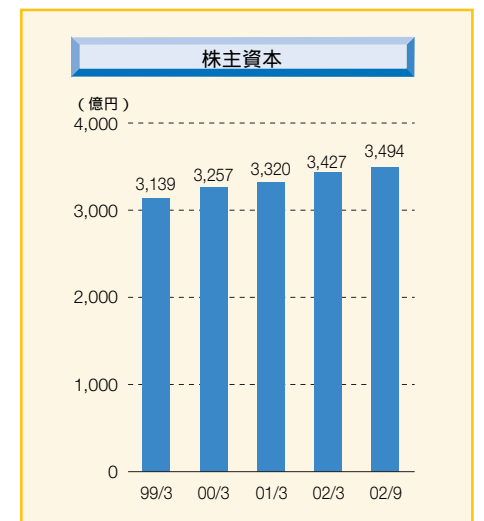
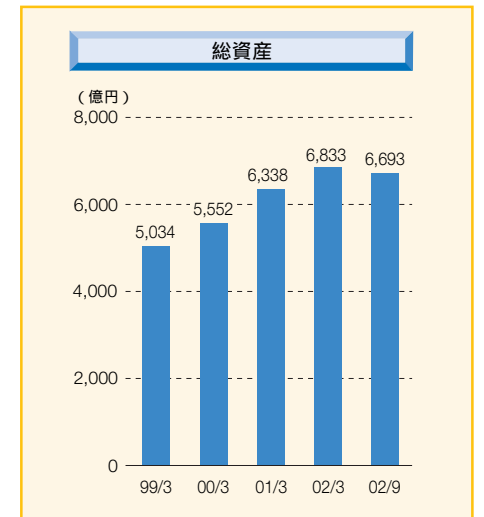
2.「商法施行規則」の施行に伴い、貸借対照表の記載方法が変更されました。そのため前中間期および前期の計数を組み替えて表示しています。



貸借対照表

(単位:百万円)

	前中間期末 (2001.9)	当中間期末 (2002.9)	前期末 (2002.3)
(資産の部)			
流動資産	72,547	62,616	66,999
現金預金	12,479	16,252	22,672
有価証券	31,406	28,853	18,413
その他	28,662	17,510	25,912
固定資産	621,305	606,713	616,396
有形固定資産	530,723	503,354	519,326
建物・構築物	318,852	313,001	319,996
機械及び装置	101,014	84,160	90,165
土地	70,910	71,210	70,910
その他	39,946	34,982	38,253
無形固定資産	20,377	16,494	18,370
投資等	70,204	86,863	78,699
資産合計	693,853	669,329	683,396
(負債の部)			
流動負債	93,969	94,378	72,053
一年以内に償還する社債	—	30,000	—
一年以内に返済する長期借入金	9,146	21,414	13,950
その他	84,823	42,964	58,103
固定負債	265,004	225,466	268,619
社債	190,000	160,000	190,000
長期借入金	51,714	42,700	55,700
その他	23,290	22,766	22,919
負債合計	358,973	319,845	340,673
(資本の部)			
資本金	63,201	63,201	63,201
資本剰余金	111,403	111,403	111,403
利益剰余金	160,244	174,660	168,257
利益準備金	1,142	1,142	1,142
任意積立金	153,700	163,200	153,700
中間(当期)末処分利益	5,402	10,318	13,415
評価差額金	30	223	135
自己株式	0	4	4
資本合計	334,879	349,483	342,722
負債・資本合計	693,853	669,329	683,396



社長メッセージ



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当中間期においては、「東京ディズニーシー」「東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ」が開業1周年を迎え、特に「東京ディズニーシー」は、開園から10カ月あまりで1,000万人目のゲストをお迎えするなど、テーマパークとして順調に滑り出しました。この1年間を振り返ってみると、「東京ディズニーリゾート」が本格稼働を始めたことで多様な楽しみ方をご提供することができ、さらに2つのテーマパークそれぞれが特長や魅力を十分に発揮したことで、これまで以上にゲストの皆さまにご満足いただけたと自負しております。その結果、当中間期は、テーマパーク合計で11,955千人のゲストの皆さまにご来園いただきました。

今後のさらなる成長を目指す取り組みとして、特集ページでご説明しましたように、「東京ディズニーリゾート」

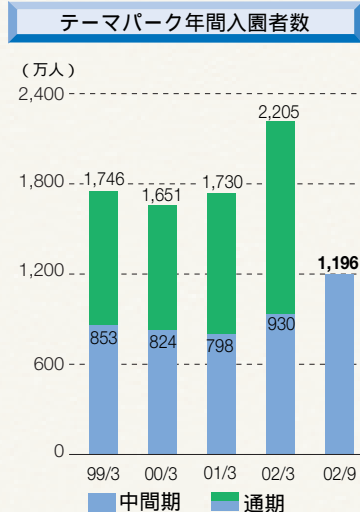


の魅力をより高めるための追加投資を継続的に行うとともに、安全で快適な環境をご提供できるよう、グループ一丸となって取り組んでいます。また、当期から「ディズニーストア」の経営・運営を開始したことで、「東京ディズニーリゾート」との相乗効果を拡大していくとともに、舞浜地域以外における事業

展開に向けたノウハウを蓄積していきます。さらに、新規事業の創造と実現を目的に、新組織の設立を含めた体制を強化しています。今後も、今まで以上に質の高いサービスや魅力あふれるエンターテインメントをご提供し、「世界で一番幸せな場所」の創造を目指します。

当中間期を振り返って

当中間期における経済環境は、株安や米国経済の減速により企業の財務内容が悪化し、所得環境も依然として回復の兆しが見られず、非常に厳しい状況で推移しました。このような状況のもと、「東京ディズニーランド」においては、さまざまなスペシャルイベントを実施しました。また、9月には「東京ディズニーシー」および「東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ」が開業1周年を迎えたほか、4月に（株）リテイルネットワークスを連結子会社とし、「ディズニーストア」の経営・運営に進出しました。これらの施設が期間を通して営業し、業績に寄与した結果、当中間期の連結売上高は160,394百万円、連結営業利益は18,204百万円、連結経常利益は15,941百万円、連結中間純利益は9,185百万円となりました。



今期の見通し

日本経済は、先行きが不透明な状態が依然続いており、個人消費は引き続き厳しい状況で推移するものと予想されます。このような状況下、当社グループでは、「東京ディズニーリゾート」を成長軌道に乗せるべく、鋭意努力してまいります。

テーマパーク事業では、「東京ディズニーランド」において、11月に「クリスマス・ファンタジー」や2003年1月から2004年4月までの15カ月にわたり開園20周年を盛大に祝う記念イベントなど、スペシャルイベントを効果的に展開することで新しい魅力を訴求していきます。



「東京ディズニーシー」においては、2001年よりも規模を拡大したクリスマスイベント「ハーバーサイド・クリスマス」を11月から開催するなど、一層の集客に努めます。さらに、特別販売プログラムを実施するほか、2つのテーマパークを複数日お楽しみいただける「マルチデーパスポート」の販売促進や「東京ディズニーリゾート・グッドネイバーホテル」プログラムの参加ホテルを18ホテルに拡大するなどの施策を通じて、宿泊滞在者の来園促進を図ります。また、「東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ」においては、テーマパーク型ホテルという付加価値を最大限に活かし、引き続き質の高いサービスを提供していきます。

複合型商業施設事業では、「イクスピアリ」において、「街」の活性化に努めるほか、クリスマスなどのイベントをテーマパークと連動して開催し、「東京ディズニーリ

ゾート」全体として相乗効果を拡大していきます。「ディズニーアンバサダーホテル」においては、ディズニーホテルとしてブランドの特色を活かした質の高いサービスを提供していきます。

その他の事業では、「ディズニーストア」において、既存店舗のリニューアルを実施するほか、2003年3月に札幌に新規店舗を出店します。また、全店舗でテーマパークチケットの販売を開始するなど、「東京ディズニーリゾート」と連携したプロモーションを展開していきます。「ディズニーリゾートライン」においては、引き続きモノレール運行の安全性の維持に努め、その他の各子会社においては、グループ内で相乗効果を発揮し、経営効率の向上に努めます。

当社グループは、グループ経営体制の強化、コスト構造の変革、新規事業開発の推進などによってより多くのキャッシュ・フローを創出し、グループ企業価値の最大化を図ります。そして、株主の皆さまのご期待に応えていきたいと考えています。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2002年12月
代表取締役社長

加賀見 俊夫



会社情報 (2002年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社オリエンタルランド
設立	1960年7月11日
本社所在地	〒279-8511 千葉県浦安市舞浜1番地1
代表者	加賀見 俊夫
従業員数	2,375名
総資産	669,329百万円
事業内容	テーマパークの経営・運営
主要取引銀行	株式会社みずほコーポレート銀行 中央三井信託銀行株式会社
格付	AA ⁺ (JCR: 日本格付研究所) AA ⁻ (R&I: 格付投資情報センター)
連結子会社	14社
事業別連結対象会社および事業内容	

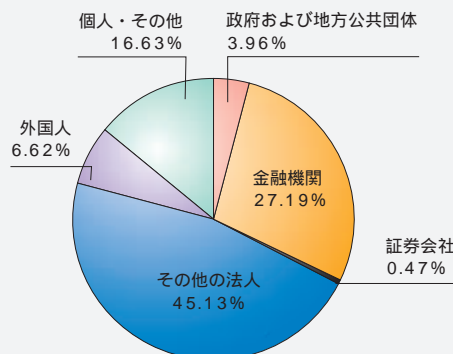
テーマパーク事業	事業内容
(株)オリエンタルランド	テーマパークの経営・運営
(株)舞浜リゾートホテルズ	東京ディズニーシー・ホテルミラコスタの経営・運営
複合型商業施設事業	事業内容
(株)オリエンタルランド	キャンプ・ネボスの経営
(株)イクスピアリ	イクスピアリの経営・運営
(株)舞浜リゾートホテルズ	ディズニーアンパサダーホテルの経営・運営
その他の事業	事業内容
(株)舞浜コーポレーション	ショッピングセンターの経営・運営
(株)舞浜リゾートライン	モノレールの経営・運営
(株)グリーンアンドアーツ	植栽メンテナンス
(株)フォトワークス	写真の焼付・現像
(株)デザインファクトリー	印刷物の制作
(株)バイフードサービス	グループ内従業員食堂の運営
(株)舞浜ビジネスサービス	事務サービス代行
(株)アールシー・ジャパン	テーマレストランの経営・運営
(株)リゾートクリーニングサービス	クリーニングサービス
(株)舞浜ビルメンテナンス	清掃業および警備業
(株)オーエルシー・キッチンテクノ	厨房器具・用品の販売およびメンテナンス業
(株)リテイルネットワークス	ディズニーストアの経営・運営

役員

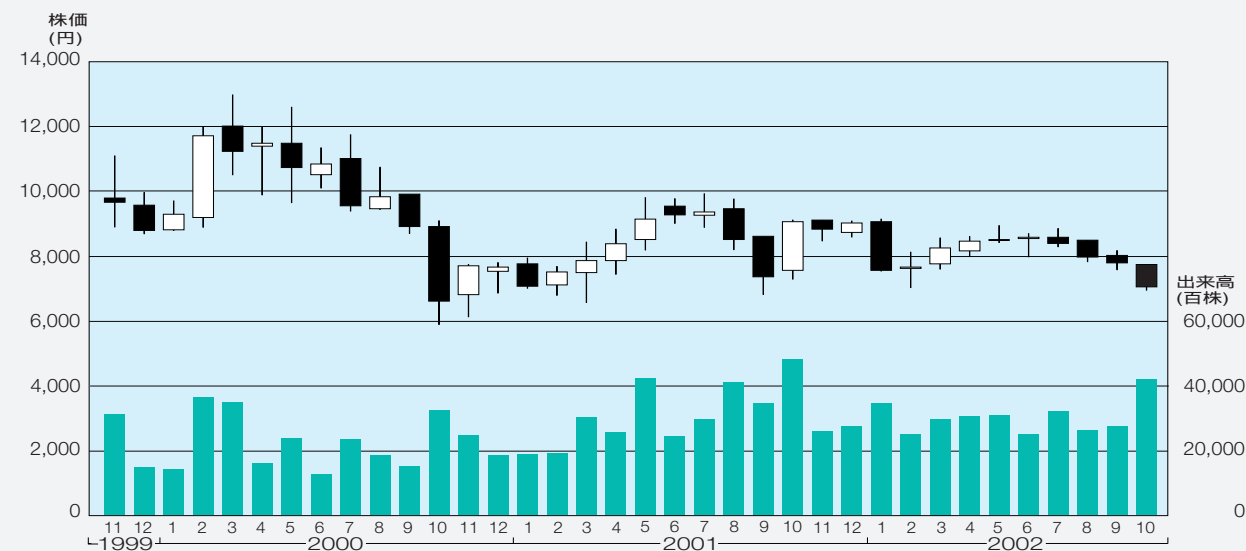
代表取締役社長	加賀見 俊夫	取締役	柳 瀬 博 太
専務取締役	奥山 康夫	取締役	飯塚 肇
専務取締役	中山 徹	取締役	鈴木 康史
専務取締役	加藤 和男	取締役	砂山 起一
常務取締役	三井 照夫	取締役	白石 廣重
常務取締役	岡村 健	取締役	嶋津 洋四郎
常務取締役	福島 祥郎	取締役	染谷 隆誠
常務取締役	土屋 文夫	取締役	大和田 誠
常務取締役	松木 茂	取締役	佐藤 健司
常務取締役	高桑 誠	取締役	田丸 泰
常務取締役	長岡 彰夫	常勤監査役	川崎 宏
取締役	田中 順一郎	常勤監査役	戸村 光夫
取締役	妹尾 弘人	監査役	大塚 弘道
取締役	小島 裕	監査役	岩 沙 弘道

株式の状況

資本金：63,201百万円
 会社が発行する株式の総数：330,000,000株
 発行済株式総数：100,122,540株
 株主数：79,764名
 大株主：京成不動産株式会社
 三井不動産株式会社
 京成電鉄株式会社
 みずほ信託 退職給付信託 京成電鉄口 再信託受託者
 資産管理サービス信託
 千葉県
 所有者別株式分布：



株価および出来高の推移(東京証券取引所) 証券コード4661



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
その他の基準日	上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03(3323)7111(大代表)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店、出張所
1単元の株式数	100株

(注) 商法改正に伴い、2002年3月期より、決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社ホームページ上に掲載しています。

<http://www.olc.co.jp/news/news.cgi?home>

諸手続きメモ

住所等の変更手続きについて

住所、氏名、届出印、配当金の振込口座などの変更は、中央三井信託銀行(株)証券代行部へご連絡ください。保管振替制度を利用され、お手元に株券がない方はお取引証券会社にお申し出ください。

配当金の受け取りについて

配当金郵便振替支払通知書をお近くの郵便局へおもちください。今後、銀行振込をご希望の方は、中央三井信託銀行(株)証券代行部へ「配当金振込指定書」をご請求ください。

受取期間を過ぎた場合

郵便振替支払通知書の裏面に受取方法を指定し、中央三井信託銀行(株)証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

OLC フォーラム

株主通信は、オリエンタルランドと株主の皆さまとのコミュニケーションツールです。当社では、添付のアンケートはがきでお寄せいただいたご意見・ご感想をできる限り本誌上に反映するとともに、経営に活かすべく努めています。今後ともアンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

前回アンケート結果

2,601 通 (回答率 3.4%)

興味をもたれた記事(複数回答可)

東京ディズニーリゾート情報	1,673
特集	1,054
決算のご報告	681
カレンダー	603
会社情報	586
OLCフォーラム	377

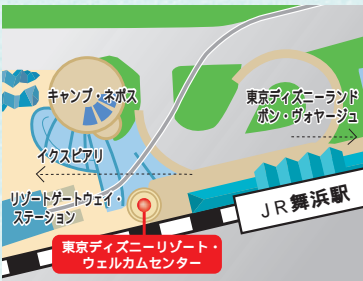
●「ジャパン・ソサエティ賞」を受賞しました。

この賞は、アメリカの非営利組織「ザ・ジャパン・ソサエティ・オブ・ノーザン・カリフォルニア」が毎年秋に開催する「ジャパン・ソサエティ・2002アニュアル・アワード ガラ」にて、日米間の理解促進における顕著な貢献が認められた人物、団体に贈られます。今回は、「東京ディズニーリゾート」を運営する当社とそれをライセンスするディズニー社が「アメリカと日本の文化の相互理解におけるユニークな橋渡し役としてだけでなく、両国のコラボレーションの成功を立証し、またその成功の継続が可能であることも証明した」として受賞の対象となりました。



●「東京ディズニーリゾート」の楽しみ方をお気軽にご相談ください。

JR舞浜駅を降りてすぐ左にある「東京ディズニーリゾート・ウェルカムセンター」のインフォメーションカウンターに「東京ディズニーリゾート・バケーションプランナー」を配置し、ゲストの皆さまのご希望に合った楽しみ方をご提案するサービスを開始しました。プランナーは、滞在期間やリゾートで体験したいことをゲストの皆さまから伺って複数のプランを作成し、リゾート滞在が充実したものとなるようお手伝いさせていただきます。「東京ディズニーリゾート」を思う存分満喫していただけるよう、お気軽にご相談ください。



●「パースデープログラム」がスタートしました。

「東京ディズニーランド」と「東京ディズニーシー」のレストラン(実施店舗は下記参照)では、ご来園前日までに「東京ディズニーリゾート総合予約センター」でパースデーホールケーキ(有料)をご注文いただいた方を対象に、「パースデープログラム」サービスをご提供させていただきます。このプログラムは、パースデーケーキにキャンドルとパースデープレートを添え、キャストが「パースデーソング」を歌い、お誕生日のひとときを盛り上げるものです。さらに、最後には全員で記念撮影を行い、ミッキーマウスからのメッセージが入ったパースデーカードとセットにしてプレゼントします。年に一度の大切な記念日、心に残る思い出をつかってみてはいかがでしょうか。



パースデーケーキイメージ

東京ディズニーランド実施店舗(計3店舗)

イーストサイド・カフェ れすとらん北齋
ブルーバイユー・レストラン

東京ディズニーシー実施店舗(計5店舗)

レストラン・ディ・カナレット マゼランズ
レストラン櫻 S.S.コロムビア・ダイニングルーム
セイリングデイ・ブッフェ

詳しくは、東京ディズニーリゾート・オフィシャルホームページをご覧ください。東京ディズニーリゾート・インフォメーションセンターにお問い合わせください。

URL <http://www.tokyodisneyresort.co.jp/>
TEL 045-683-3777

株主優待のお知らせ

株主用パスポート(1デーパスポート)

2002年9月末日および2003年3月末日の年2回を割当基準日とし、その時点における所有株式数(株主名簿、実質株主名簿双方に記載のある場合は名寄せした合計の株式数)に応じて、株主用パスポート(「東京ディズニーランド」または「東京ディズニーシー」どちらかのパークで利用可能な1デーパスポート/有効期限:1年、使用不可日:12月31日等の特別営業時間帯)をお配りいたします。

	(単位:枚)	
	2002年9月末日	2003年3月末日
100株以上	1	1
200株以上	2	2
300株以上	3	3
400株以上	4	4
500株以上	5	5
3,000株以上	6	6

なお、「入園制限」を実施している時間帯は、ご利用いただけません。また、すでにお配りした「東京ディズニーランド」株主用パスポートは、優待内容の変更後も「東京ディズニーシー」ではご利用いただけませんので、あらかじめご了承ください。



2002年9月末日現在の対象株主の皆さまには上記デザインの株主用1デーパスポートを2002年12月25日に発送する予定です。

The copyrights to the Disney characters and scenes from Tokyo Disneyland, Tokyo DisneySea, Disney Ambassador Hotel, Tokyo DisneySea Hotel MiraCosta, Disney Resort Line and Disney Store are owned by Disney Enterprises, Inc.
©Disney Enterprises, Inc.

T O K Y O D I S N E Y R E S O R T

I N F O R M A T I O N

東京ディズニーリゾート情報

東京ディズニーリゾート・オフィシャルホームページ

<http://www.tokyodisneyresort.co.jp/>

すべてのインターネット対応携帯電話からもご覧いただけます。

東京ディズニーリゾート・インフォメーションセンター

各種情報提供 045-683-3777【パーク開園時間帯*】

音声情報サービス 045-683-3211【24時間】

FAX 情報サービス 045-683-3311【24時間】

*パーク開園時間帯は東京ディズニーリゾート・インフォメーションセンターの音声情報サービスにてご案内しています。

東京ディズニーリゾート総合予約センター

各種ご予約 045-683-3333【9:00～21:00】

交通情報

東京ディズニーリゾート交通情報テレフォンサービス

045-683-3011(2002年8月より新番号に変わりました)

東京ディズニーリゾート・トラフィックリポート

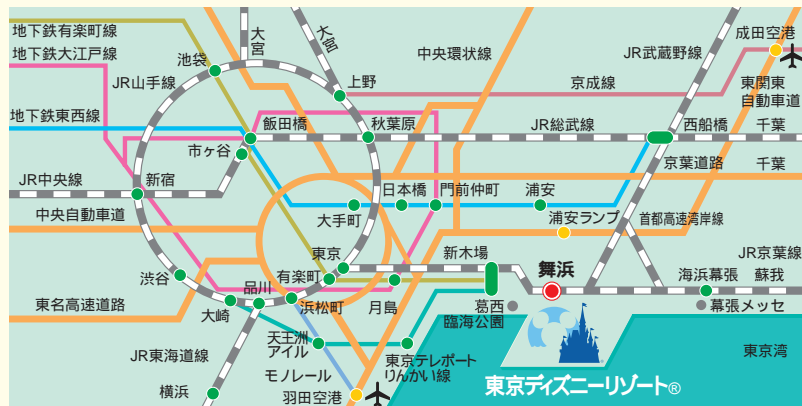
F M えどがわ 周波数 84.3MHz

株式会社オリエンタルランド会社情報

株式会社オリエンタルランド・オフィシャルホームページ

<http://www.olc.co.jp/> 過去の株主通信もご覧いただけます。

電話番号はおかけ間違いのないようにお願いいたします。



〒279-8511 千葉県浦安市舞浜 1-1
株式会社 オリエンタルランド



本誌は再生紙、大豆インクを使用しています。